

スタッフインタビュー: Profile. 12

つむぐ人たち

ソナーレで働くスタッフそれぞれの思いを通して、
介護に携わるプロフェッショナルの「声」をお届けします。

ソナーレ杉並上井草

須賀 里織

すが さおり

ライフマネージャー
2021年入社

大学卒業後、介護業界に興味を持ち、有料老人ホームやグループホーム等を運営する会社へ。各種施設でケアスタッフから管理者まで幅広く経験した後、ソナーレに入社。



人が好きで、飛び込んだ介護業界
関わるすべての人の笑顔が
私の原動力です。

人と深く関わる仕事が
できる職場でした

私が介護の仕事に就いたのは、人に興味があったからだと思います。だからこそ、おひとりお一人にしっかりと寄り添って、その方の人生の目標になること、もう一度叶えたいことを、多種のスタッフが連携して具現化するソナーレの「Life Focus」(ライフフォーカス)という考えにとっても共感しました。

その方らしさを大切にするという考えは、これまで働いてきたどの現場でも目標としていましたが、日常業務の空いた時間で対応しなければならなかったり、イベントは年間行事が中心になったりと、どうしてもおひとりお一人に焦点を当てたサービスの提供が難しい面もありました。ソナーレでは「Life Focus」のための時間がシフトにも組み込まれて

いて、具現化している事例も多く、取り組みが非常にしっかりとできていると感じています。

コロナ禍でも
できることを探して

ご入居者との会話で、「外出をした」というお声もよく聞くのですが、コロナ禍ではなかなかお応えすることができず、私たちスタッフも歯がゆい思いをしています。そのような中、今年のお正月は、感染拡大が少し落ち着いていたタイミングで、少人数ずつ感染対策をしながら、近くのお寺へ初詣に行くことができました。アクセスや境内の路面の状況などスタッフが細かく下調べをしていたので、手入れがいき届いた庭園や梅の蕾を存分に楽しんでいただけました。病院からこちらに入居されたため、数年ぶりの外出となった方もいらつしゃって、大変喜んでいただけました。

ご入居者とご家族
スタッフと心を合わせ

ライフマネージャーとしての業務は、ご入居者とご家族のお話をじっくり



り伺い、ケアスタッフをはじめとする専門職のスタッフから様子を聞き取り、その方が、ここでの暮らしを有意義に過ごしていただけるようなサービス内容を考えることです。また、いろいろな取り組みを実現させるにあたり、外部との交渉や調整も私の仕事です。

ソナーレのスタッフは皆、「Life Focus」の考えに魅力を感じて集まってきたので、それぞれが積極的に、どうすれば実現できるのかを考え行動しています。ご提供したサービスをご入居者やご家族に喜んでいただけることはもちろん、関わったスタッフが満足している姿をみることも、この仕事のやりがいの一つです。